

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	岡山県	市町村名	高梁市	区域名	吹屋地区	
区域現況	区域の概況	吹屋地区は、古くからの銅山町やベンガラ豪商の商家などで形成される伝統的建造物群などの歴史上価値の高い建造物と、高草八幡神社の祭礼など地域固有の歴史や伝統を反映した人々の活動とが一体となって町並みが形成されている。これまでの住民によるまちづくりに加え、近年の観光客の増加や県道のバイパス整備など周辺環境の変化に対応した歴史的町並みの保存、歴史的建造物の保存・修景、周辺の景観に配慮した環境整備が特に望まれる地区である。				
	道路の現況	吹屋伝統的建造物群保存地区の中央を通る市道吹屋線(旧吹屋往来)は、バイパスの完成により町並みを通る自動車通行量の軽減が図られる。今後は地域住民や観光客の視点に立ち、周辺環境に調和した道路整備が求められている。				
	公園等の現況	地区内には、公園等は配置されておらず、吹屋公民館や吹屋小学校が、住民のコミュニケーションの場として活用されている。				
	地区住民のまちづくり活動の概要	吹屋町並み保存会、公民館、観光協会、新生会によりまちづくり活動が展開されている。特に、歴史的町並みの保存や活用では、吹屋町並み保存会を中心として、行政と住民が一体となり、地区全体で積極的に景観形成に努めている。				
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	伝統的建造物群保存地区を中心とした歴史的風致を生かしながら、歴史的町並みや建造物の保存・活用を行い、住民にとって快適な生活環境であるとともに、来訪者にとっても魅力ある場となる、街なみ環境整備を図る。				
	整備の時期	平成23年度～平成31年度				
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	吹屋伝統的建造物群保存地区の中央を通る市道吹屋線は観光客にとっても重要な道となるため、水路改修等の機能アップを図るとともに、周辺の景観に配慮した美装化を行う。また、伝建地区内の下町地区と下谷地区を結ぶ旧吹屋往来の石段、路面などの修復整備を行い、回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する。			
		小公園等	銅山とベンガラで繁栄した往時の面影を残す「吉岡銅山」「大塚家」の施設整備を行い、歴史を語る地域資源として公開することにより交流人口の増加を図る。			
		その他	現役の木造校舎として国内最古の吹屋小学校(県指定文化財)について、建造物の現状調査及び調査結果に基づく保存修復を行い、歴史的価値を適正に維持することにより、良好な景観形成を図る。また、地区内の案内看板や施設等の説明看板の整備を行い、町並みに調和した統一感のある景観を形成する。			
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	伝統的建造物群保存地区内の家屋は、文化庁の事業により、保存事業を継続して実施していき、歴史的町並みの景観の維持、向上を図る。			
		敷地				
その他の事項						